富山新聞　2019年8月18日

地域社会

園芸療法の技術磨いて

自然と触れ合い心身健康に

高岡・高畑さん会に研修 24日

高岡市戸出西部金屋の園芸療法士高畑雅子さん(69)が24日、園芸療法士の研修会を開く。高畑さんが自宅につくった園芸療法を実践するコミュニティガーデン「海のしずく」を、全国の療法士が視察し、技術の向上を目指す。

園芸療法は、身の周りにある自然との触れ合いを通して心身の健康を図る作業療法の一つ。高畑さんによると、うつ病や認知症、障害者、不登校の児童生徒へのリハビリとして注目されているという。

高畑さんは、兵庫県認定の園芸療法士の資格を取得し、2017年に自宅の庭にお年寄りらが自由に出入りできる「海のしずく」を開いた。

園芸療法はまだ認知度が低いことから、高畑さんは全国の園芸療法士と交流しながら広めていこうと、園芸療法と歩む会（兵庫県）に研修会の開催を提案した。

研修会には、歩む会の会員ら15人が参加する。高畑さんが、地域に根差したコミュニティガーデンの取り組みや、費用を掛けない造園の工夫を紹介する。研修会は今後、全国各地での開催を計画している。

高畑さんは「五感で自然の恵みを感じて、それぞれの現場でノウハウを活用してほしい」と話した。

コミュニティガーデンで作業する高畑さん＝高岡市戸出西部金屋